

自 己 評 価 結 果 票

グループホーム名	布 施 の 郷	事業所番号	2873600361
ユニット名(複数の場合)			
住 所	たつの市 揖西町 竹原 1283番地		
評価実施日	平成21年 5月15日		
記録完了日	平成21年 5月19日		
記 録 者	役職	管理者	氏名 福 森 ミ キ エ

【記入方法】

- 評価にあたっては、共通認識をもつためにも、管理者等を中心に、事業主や職員と一緒に評価を行ってください。
- 各評価項目について、「できている」「要改善」「評価困難」のうち該当する欄に○を付け、「判断した根拠や理由」及び「改善へ向けたメモ」等を必ず記入してください。
 - ・「できている」= 各項目の表記内容がすべて実践されている
 - ・「要 改 善」= 各項目の表記内容について何らかの実践あるいは達成されていない点がある
 - ・「評価困難」= できているか、要改善のいずれかを判断する上での根拠が得られず、評価ができない

「判断した根拠や理由」は必ず記入してください

「要改善」とした場合は、「改善へ向けたメモ」を必ず記入してください

「評価困難」とした場合は、その理由を「判断した根拠や理由」の欄に記入してください

【用語について】

- 管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

自己評価結果票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中のその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営推進会議にて、自治会・老人会と交流を持ち、当グループホームの理念を含めた内容を説明している。		知見者・民生委員・自治会・老人会の方に毎回出席して頂き、理解してもらっている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念を記述した書類により、各自述べる事が出来る。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるように取り組んでいる	ホーム他便りを季刊発行している。2ヶ月に1度、運営推進会議と家族会を開催し、グループホームの説明をしている。		クリスマス会を行ない、家族の方、利用者さん、地域の方、職員ともに食事をし、ゲーム、プレゼント交換を行なっています。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人との気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時に声かけや挨拶がある。畑でとれた野菜を持参して下さる。系列のディサービス解放時に説明を行い、交流がはかられている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方から訪問があったり、行事に参加しやすいように案内状が届いている。老人会の方が時々来郷され、利用者さんと談話されています。	○	案内状が届いたら、喜んで出来るだけ参加させてもらっています。
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議等で、いつでも立ち寄って頂くよう声かけしている。	○	ディサービスで行事がある時は、必ず参加させてもらっています。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義と理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	会議にて報告している。以前よりは理解してもらっていると思います。	○	職員への勉強会を開催して理解を深めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議では、常に報告している。意見をサービス向上に活かしている。		
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	常に相談して、助言を受けている。来郷して下さる時もある。電話に快く対応してもらっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10	○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前に成年後見制度を利用しておられる方があり、少しは理解できているが十分とはいえない。	○	職員全員で学習出来る機会を持ちたい。
11	○ 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内では常に指導に努め、防止に努めている。		
4．理念を实践するための体裁				
12	○ 契約に関する説明と説得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者・職員のペアで入居者本人にも面談し、家人と十分話し合い医療機関とも面談し、十分把握するようにしている。		
13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者・各人のペースに合わせた日常生活の支援を行う。入居者の都合も聞き共に進めていく。利用者の意見、不満、苦情には常に傾聴している。		
14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	便りを発行し、家族に送付している。電話での連絡を月に1度は詳細に行っている。月末には、家族に出納状況を報告している。健康状態は、その都度、TEL連絡している。		
15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプランに全員が関わり、入居者に対する理解・責任感・協調性を探っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を開く機会を設け、反映させている	月に1回(25日)カンファレンスにおいて意見交換を行う。カンファレンスの後毎月議題を決めて研修会を開いている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の状況に合わせたローテーションが組まれている。職員は緊急連絡網により、いつでも対応出来るようにしている。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を崩さないよう配慮している。		職員9名中6名が3年以上勤務している。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	レベルに応じて研修を行っている。積極的に参加できるように計画している。各研修には、積極的に参加している。		平成21年実務研修に1名参加予定
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に一回、近隣の管理者が集まり意見交換・勉強会を行っている。	○	もっと意見交換、相互訪問等を行って行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するた めの工夫や環境づくりに取り組んでいる	年数会(2回以上)の親睦会を行い、ストレス解消 やリフレッシュに役立てている。上司に相談したり 話をする機会を設けている。		日帰り旅行もしている。
22	○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう に努めている	各自が前向きに頑張れるように働きかけはしてい るが、十分とはいえない。	○	話し合いをする機会を持つよう努力する。資格習得 に力を入れている。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っているこ と、不安なこと、求めていること等を本人自身から よく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所者の言動を否定せず合わせる様にし、誇りを 損ねるような対応がない様工夫している。		少しの時間でも利用者からの訴えには傾聴するよ うにしている。
24	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族が困っているこ と、不安なこと、求めていること等を本人自身から よく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の情報を最大に集め、入居された時は、十分 話し合い満足のいく様努力している。		
25	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず 必要としている支援を見極め、他のサービス利用も 含めた対応に努めている	本人の生活暦に基づき趣味等を取り入れた計画を 作成している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	出来るだけ見守りの姿勢で対応し、出来ない事についてはさりげなく介助を行う。相手の目線に合わせ、穏やかにやさしい声をかけ、言葉使いをする。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○ 利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	家族からの生活暦や趣味・嗜好を聞き、理解し入居者のその人らしさを大切にし、日々の暮らしに活かしている。		
28	○ 利用者を共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族と共に参加出来る機会を作っているが毎回参加とはなっていない。誕生会等参加の連絡を入れている。	○	家族の理解を得て、実現出来る様にしていきたい。クリスマス会は、たくさんの参加を得ている。
29	○ 利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者により格差はあるが、どの家族も面会に来られるし、また電話もかかっている。		家族の面会が増え喜んでいる。写真も撮り残している。
30	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途絶えないよう、支援に努めている	面会や行事などへの自由な参加などで、人と触れ合う機会を多く設ける努力をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共同作業が行える雰囲気・時間を作っている。		お互いに訪室しあう仲の利用者が増えている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にする	家人に対し、十分説明し納得された上で契約に基づいた手順をふみ、家族を支援できるよう行っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個室や共同生活の場があり、好きな時に自由に行き来し、生活しておられる。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	音楽が好きな入居者・手芸が好きな入居者・習字の得意な入居者など、楽しく過ごせるよう支援している。		絵・習字はリビングに掲示している。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するよう努めている	その日の体調など考慮し、散歩や入浴、植物の世話など本人の希望に合わせて行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2．より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の生活暦に基づき、本人・家族の意見を尊重し、一人一人個性を把握し、具体的に介護計画を作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の希望や変化を詳細に把握しながらより密着した計画を作成する努力をしている。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日に記録・連絡帳により情報伝達を行い、入居者の状況を把握できる様にしている。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況の、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日々変化する入居者の細部の様子を報告し、家族様との関係をより良いものにするよう努力しているが十分とはいえない	○	以前よりも、状況報告をしているが、もっと家族様との関係を密にして信頼を得るよう努力して行きたい。
4．より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察・近くの派出所へ依頼・協力を求めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今のところは支援していません。	○	以前よりは、近隣の事業者との話し合いが増えて いるが、もっと他のサービス事業者との連携が図 れるよう働きかけていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等につい て、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議・その他で意見交換や指導を受けて います。		
43	○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られ たかかりつけの医と事業所の関係を築きながら、適 切な医療を受けられるよう支援している	かかりつけの医師による受診等、家人希望により 行っている。		最近は往診も取り入れている。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きなが ら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診 断や治療を受けられるよう支援している	協力医院及び担当医を確保し助言等受けている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職 と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用 の支援をしている	元看護職のパート職員さんがおられ、適切な指導 を受けて介護へ連携対応しています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、ま た、できるだけ早期に退院できるように、病院関係 者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そ うした場合に備えて連携している	入院後も積極的に家族の方との連帯を取り、早期 退院にむけた取り組みを行っている。入院先にも 様子を伺いにお見舞いに行っている。	○	以前より満足度が増している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化について、お互いに話し合い、受け入れ体制等納得のいく方針を検討中。	○	今後、機会ある事に本人・家族様と話し合い、意思を尊重し検討をしていきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をよりよ良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホームでの出来る事、出来ない事を現状から見極め、医療分野でないと出来ない事を説明し、家族様に理解して頂くよう努めています。	○	医療機関と連携を図れるよう努力したい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	一人特養に行かれました。ケア関係者間で十分な話し合いをするよう努めています。		しばらくは様子を伺いに行きました。元気に過ごされており喜んでいます。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	指示口調は行わない。作業時には、必ずお礼の声かけをしている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	昔の唄を教えてもらったり、おふくろの味つけ・煮物など指導してもらっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の生活・機能を重視し、一人一人が満足される様個別のケアに取り組んでいます。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	移動式美容院を利用したり、本人の希望により美容理容外出も行う。起床時必ず整容を行い、その人らしさが出る様工夫している。		入浴後の更衣も本人と相談して決めています。(服選び)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感が出ている料理・誕生会・行事によって献立を工夫している。時には、キザミ食・お粥等対応も心がけている。		時々、食べたい物を聞いて、献立に取り入れるようにしています。
55	○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫茶時、数種類の飲み物を用意し、入居者各自が選べる様にしている。		喫煙も火事に気をつけ、毎日楽しんでもらっています。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者のパターンに合わせ、自立支援に向けて細やかな対応をしている。紙パンツ・下着等使い分けし、各自の状態をよく把握し、紙パンツからパンツに変更している。		紙パンツは夜のみ使用するよう心がけている。定期的にトイレ誘導している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、バイタルチェックを行い、入浴前にも再チェックしている。また、好きな時間帯に一人で入浴出来るよう配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	職員と一緒に散歩したり、手伝い等日中活動のアップ、冷暖房で空調を行う。休息時には、声かけし話を聞いたり、飲み物を摂取したりする。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	人により出来る事が違うが、自発的に喜んでしてもらえる様支援している。		買い物にも一緒に行ってもらっている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	欲しい物を気楽に言える雰囲気作りをしている。		買い物の日は希望される物を購入するよう心がけている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	併設のサービスでの行事・散歩・ドライブ等行っている。		月1～2回は外出するよう心がけている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している	本人の希望により遠方の場合は、家族に協力を求め、近場の場合は外出時を利用して行っている。	○	少しずつは実現しているが、家族の理解も得て、もっと実現出来る様にしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	公衆電話が設置されており、希望があればその都度介助にて行う。ホーム横に郵便ポストがあり利用している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族・知人・友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間制限せず、いつでも訪問を受け入れ、好きな場所で過ごせるようにしている。お茶も利用されている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のないケアを行い。職員も充分認識している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	朝7時からB勤務者が帰宅するまで(20時)の間は、玄関の鍵はかけておりません。居室は、その利用者に任せています。(上記の間)		
67	○利用者の確認安全 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	調理しながらもリビングの様子を見守っている。		玄関のチャイムも内と外と二重にして見守りしている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬は、鍵のついたロッカーに保管し、洗剤は目にふれない様保管している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事後防止に取り組んでいる	ヒヤリハット・事故報告書を作成し、改善策を話し合い再発を防ぐ努力を行っている。		
70	○急変や事故発生時に備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応について、カンファレンスで話し合い、意識を高め勉強している。		5月29日、30日、31日応急手当普及員講習会に参加予定、その後勉強会を行なう予定。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の火災時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署より指導を受け、年2回の避難訓練を行っています。運営推進会議で地域の方に協力をお願いしています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりの起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	本人の意思を尊重する時起こるリスクは、常に家族様に理解頂けるよう努力はしています。	○	何人かは理解してもらえるよう承諾書を取り対応しているが、今以上に説明し理解して頂けるよう努力したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタル測定を行っている。少しでも異常値が出れば記録に残し、申し送りして再測定している。異変の早期発見に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を全員理解し、医師の指示通り毎日2名の職員により用量を確認し、服薬を行っている。		
75	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のために飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェックを出来るだけ行い。散歩・体操・食事(繊維質の物・牛乳等)で対応している。		医療機関も利用して相談にのってもらっている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食前後、口をゆすぐ・うがい等の支援をしている。毎晩、義歯を預かりポリデントしています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日えお通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量・水分摂取量(喫茶時を含む)朝・昼・夕それ以外の記録を行っている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎食前、おやつ前に手洗い・うがい・消毒習慣を徹底している。	○	最近のインフルエンザ対策にも取り組んでいる為、面会者には、消毒・マスク等のお願いをしている。学習会又はカンファレンスにおいて、レベルアップを目指し学習している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器は、使用のつど熱処理を行っている。まな板は、週2回熱湯消毒を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関回り・中庭の水遣り、ホーム内の草引き、洗濯干し・取入れ等協力して行っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの各テーブルの上にも、季節の花を飾る様にしている。自然の光を取り入れる様にし、音量は心地よい様に気をつけている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室の談話室を用意し、テレビを見たり、カラオケをしたりしている。廊下に椅子を配置し、好きな場所で談話したり、くつろいだり出来るようにしている。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の意思を尊重し、自宅で使い慣れている、家具・食器(コップ)等持ち込んでもらっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に 努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配 慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節に応じて、快適に暮らせるようにこまめに温度 調整を行い、より良い環境づくりに努めています。		リビングには温度計を置き、常に調整している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安 全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫 している	ホーム内必要な箇所に手すりの配置、浴槽内すべ り止めマット使用・手すりの位置・形状に配慮してい る。物干しの高さも低めにしている。		杖が必要な利用者さんは、ホーム内外、いつも使 用してもらっている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を 防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	壁は、白色・ベージュを基本としている。陰になる部 分を取り除いている。居室の扉の名札は、各自好 みの飾り付けを行い違う色使いを工夫している。		一部の方は扉の開ける方向も図にしてしめしてい る。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、 活動できるように活かしている	中庭にプランタンを置き、ねぎ・三つ葉・トマト・花を 植え楽しんでいる。		

(☐ 部分は第三者評価との共通評価項目です)